

ほり まち  
「堀の町にいがた」の提言

～堀を活かした「語り継ぐ未来へ」のまちづくり～

平成18年8月29日

NPO法人堀割再生まちづくり新潟



## はじめに

平成15年6月に堀割再生考座第1回「新潟に堀があったら？」を開催いたしました折、市長は最初の挨拶でこう言われました。「早くすばらしいプランを提案してください」この言葉がその後の活動の支えとしてどんなにか力強いものになったことが、しかし反面その為にはその提案が真に誠<sup>しん</sup>たれと心<sup>まこと</sup>が引き締まる想いをいたしましたことも事実であります。

その後の考座やシンポジウム、まちあるきなど多くの活動を通して参加された皆さまのご意見も参考にポイントを整理し、系統立てて「堀」「水辺」「まちづくり」「アイデンティティ」「将来」と考察を続け約3か年が過ぎてしまいました。この3年間は長いようですが、プランをまとめるにおよそ半年間、会員の有志は毎週の月曜日に例会を開催し勉強をつづけてまいりました。このプランにはそれだけの熱意と学習成果でまとめ上げられています。この想いを込めた提言が様々な場面で取り上げられ参考になれば幸いです。

最後になりましたが、この提言にいたるまでの活動に貴重なアドバイスと多大なご協力を賜りました、講師、パネリストの皆さま、取材にご協力をいただきました皆さま、新潟市街づくり推進課の歴代の課長、担当職員の皆さまに御礼を申し上げまして挨拶といたします。



新潟市東堀前通8番町1372番地、葵マンション302号

NPO法人 堀割再生まちづくり新潟

理事長 川上 伸一

# 目次

- はじめに
- 提言にあたって
- 提言に織り込むポイント
- 提言
  - 「堀の町にいがた」の提唱
  - 「水都にいがた」を構成する模式図
  - 「堀の町にいがた」を彩る「堀」の価値と魅力
- 賑わい、楽しめる未来の「堀の町にいがた」の町並み
- 「堀」を彩る仕掛け
- 完成までの計画期間
- 将来のトータルイメージ
- 将来の夢
  - 5～10年間に整備を提案した堀の選定理由
  - 一番堀プラン～パースとまとめ
  - 西堀プラン～パースとまとめ
  - 早川堀プラン～パースとまとめ
- これから
- まとめ
- 講演・発表者
- 参考文献・資料

# ほり まち 「堀の町にいがた」の提言

～堀を活かし「語り継ぐ未来へ」のまちづくり～

## 提言にあたって

私たちはこれまで堀割再生物語プロジェクト実行委員会の活動を経て、多くの皆さんの推薦によりNPO法人化を行い、責任ある活動団体として活動を充実させてきた。これからの活動にあたり、なにが大切か、なにが必要か、何をすべきかを考え、その結論をまとめた。

この提言は、新潟市が政令指定都市にふさわしいまちとして、また市民主体のまちづくりをより推進するため、これまでの活動を集約し、情緒があり、賑わいのあるまちづくりのために、堀の価値と魅力を再認識して活用することを提言するものである。

この提言が市民、団体、行政のそれぞれの役割分担と連携を図りながら、実現にむけて取り組む活動の指針になることを期待する。

**私たちは提言に掲げたまちづくりが実現するため、**

**その一翼を担って積極的に活動を行ないます。**

## 提言に織り込んだポイント

その視点は

- 1：いま都市に求められているアイデンティティ。
- 2：新潟が持っているポテンシャル。
- 3：堀の歴史と文化、情緒。

現在のまちづくりに求められていることは  
その地域の価値と魅力を活かした「まちづくり」であり  
加えてそこに住みつづけたいと思う、落ち着いた環境のまちである。

そこに住む人々が落ち着いた生活を営んでいると  
訪れた人々は自ずと魅力を感じ  
風情と情緒の心地よい「まち」だと感じ再び訪れたいと思う。

この提言は住んでいる人々が満足して生活を楽しみ、  
町なかを綺麗に彩り、その町に誇りをもてる、そんなまちにするための  
まちづくりを提案する。

## 「 提 言 」

堀の価値と魅力を再認識し  
情緒豊かで賑わいのあるまちをつくり、  
市民が誇りにできる「堀の町にいがた」を提言します。

## 「堀の町にいがた」の提唱

新潟市が掲げている「<sup>すいと</sup>水都にいがた」が人々になかなか受け入れられていない。それは新潟がそれなりの「仕組み」や「施設」、「規模」になっていないことに起因している。

「水のまち」「水の郷」「水の都」と呼称している他の都市や町と比較をするその認識は市民も、また全国的にも低いものであることが幾多の調査から伺うことができる。しかし、施設や規模はそれなりに整備がなされ充実をいえる。

「水都にいがた」を強くアピールするために新しい「仕組み」が必要である。

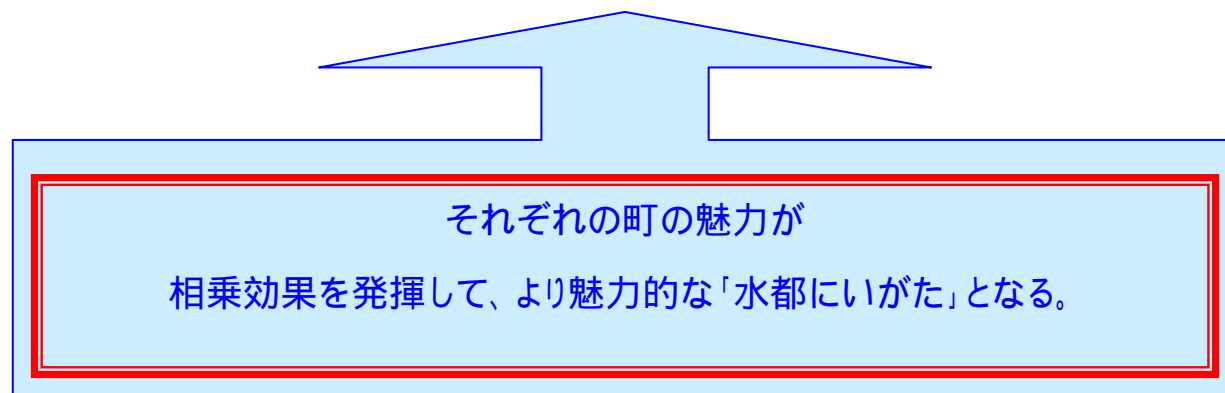
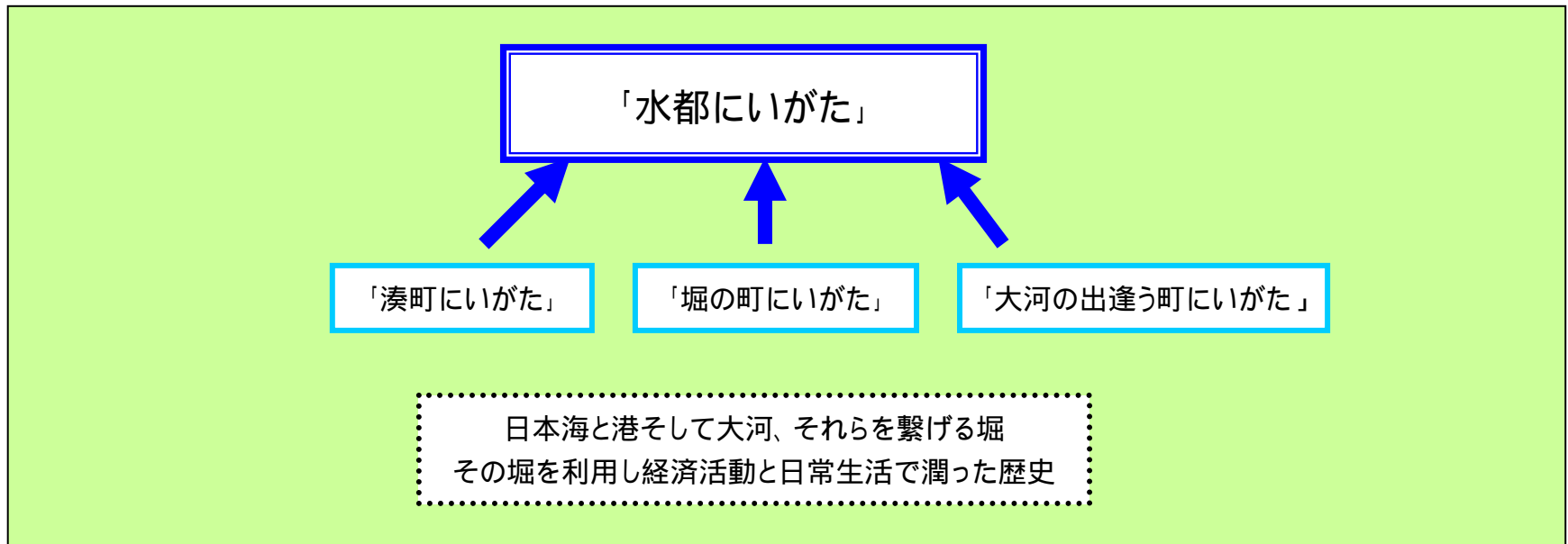
そこでは四季折々に「水」に親しむ歳時記を楽しみ、親しみ、「水」を活かしたまちづくりを提唱して、市内に多くの水に係わる施設を設け、市民が「水都にいがた」を誇りにできる物語が必要である。

堀の歴史と文化、情緒の価値と魅力を強調したまちづくりを推進し「堀の町

にいがた」を創り上げ、「湊町にいがた」と「大河の出逢う町にいがた」が一緒になり「<sup>すいと</sup>水都にいがた」を構成して、そのポテンシャルを高め、全国に発信することが重要である。

この提言で、「堀の町にいがた」を提唱し、広く市民に呼びかけ、これからのまちづくりの大きなパワーとポイントになることを確信してこの名称を提案する。

すいと  
「水都にいがた」を構成する模式図





# 「堀の町にいがた」を彩る「堀」の価値と魅力

堀がもっている主要な3ポイント

## 1: アイデンティティ

- 1 - 1 : 堀が造られた歴史とこれまでの物語
- 1 - 2 : 堀が活用されていた時代に生まれた文化
- 1 - 3 : 堀が醸し出した風情と情緒
- 1 - 4 : 堀を活用した歳時記の楽しみ
- 1 - 5 : 堀の町としての誇りと継続

## 2: 都市のなかで堀のもつ価値と魅力

- 2 - 1: 有効利用による地域コミュニティの構築
- 2 - 2: 都市の歴史と文化を継承するアイデンティティ
- 2 - 3: 観光資源として都市力を高めるポテンシャル
- 2 - 4: 美しい景観、防災、イベント、交流の新しい魅力
- 2 - 5: 画一的なものから潤いと安らぎの新しい魅力

## 3: 交流と経済活性化による価値と魅力

- 3 - 1: イベントの活用による交流の活性化
- 3 - 2: 多様なイベントの展開できる魅力
- 3 - 3: 新たなブランドの開発
- 3 - 4: 堀と町並みを楽しむ来訪者による活性化
- 3 - 5: これらを総括した経済改革特別区と地域再生計画の認定

これらの価値と魅力を引き出し、活用することで新潟のポテンシャルがさらに高まる。

～賑わい、楽しめる未来の「堀の町にいがた」の街並み～



## 「堀」を<sup>いろど</sup>彩る仕掛け

経済特区の認定  
地域再生計画の認定

公共交通の充実、新交通システムの導入  
町並み景観の整備、散策路や周辺の整備  
オープンカフェ、屋台、水上レストランの開業  
ライトアップ、光のイベント、イルミネーション装飾の設置  
お祭り、イベント、まちあるき、フリーマーケットの開催  
案内施設の開設、ガイドマップの充実、案内ガイドの制度化、  
文化施設の拡充、伝統文化の発掘継承、関連グッズの開発販売  
PRの発信、柳都観光コースの開設、連絡協議会等の設立

### 堀を彩る仕掛け

- その1:  
景観、環境を整える。  
その2:  
<sup>にぎわ</sup>賑いを演出する。  
その3:  
美しさを演出する。  
その4:  
物語を演出する。  
その5:  
楽しさを演出する。

「何かある」?!  
そんな期待ができる  
「ところ」にすることである

### 堀を活かす仕組み 事例:法規制緩和

- その1:  
経済特区の認定  
(構造改革特別区)  
改革範囲:規制改革  
取り組み:地域自己責任  
その2:  
地域再生計画の認定  
改革範囲:規制改革  
補助金  
権限委譲  
民間開放  
取り組み:国が支援

独自の取り組みが可能となり、  
地域の特性を發揮できる  
活動が展開できる。

### 人がにぎわう「堀の町にいがた」



## 完成までの計画期間

～この整備中に「堀」を彩る仕掛けを組み立てる～

この提言の実施期間は

当初時期としておおむね5～10年  
先を目標とした。

中間時期として30～40年先を  
目標とした。

最終時期として100年先を目標  
に、物語を語り継ぎながらその  
時々々に即したまちづくりの指標に  
なることを期待する。





## 5～10年間に整備を提案した堀の選定理由

これまでに開催した再生考座、シンポジウム、アンケート調査等から代表的な堀のイメージとして上位にランクされたもの、或いはここが良いとされたものを検討して3箇所の場所を選定した。

西堀：最後に埋められた堀であり、新潟の代表的な堀であること

一番堀：白山神社の太鼓橋に象徴され、一番大きな堀であったこと

早川堀：下町を代表する堀であったこと

これら一番堀、西堀、早川堀と繋げたネットワークができる。

以上のような理由から3箇所を選定し、その場所の特性を考慮して

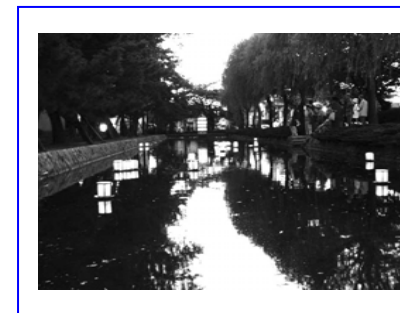
それぞれの特徴を活かし、効果が発揮できるプランを検討し作成した。



一番堀



西堀



早川堀  
復元モデル